

第 67 回地域農林経済学会大会のご案内

2017 年 6 月 30 日

地域農林経済学会

第 67 回地域農林経済学会大会を下記の要領で開催いたします。会員の皆様はもとより、非会員の皆様もぜひご参加ください。

1. 期 日 **2017 年 10 月 27 日 (金) ～10 月 29 日 (日)**

2. 日程および会場

2-1. 開催地 高知大学 (朝倉キャンパス)

住 所 〒780-8520 高知市曙町 2-5-1

連絡先 飯國芳明 TEL : 088-844-8238 E-mail : iiguni@kochi-u.ac.jp

 霜浦森平 TEL : 088-888-8079 E-mail : shimoura@kochi-u.ac.jp

2-2. 地域農林経済学会大会日程

開催場所・時間は何れも予定です。必ず、大会前に学会ホームページでご確認ください。

【第 1 日】 10 月 27 日 (金) 地域シンポジウム

(メディアの森・学術情報基盤図書館 6 階 14:00～16:30)

※本シンポジウムは本年度の四国支部研究会を兼ねて行います。

【第 2 日】 10 月 28 日 (土) 大会シンポジウムおよび個別報告 (B 館講義室)

○個別報告① [9:00～12:00] (共通教育棟 3 号館)

(受付開始 8:30)

○会長挨拶 [13:00～13:05] (共通教育棟 2 号館 212 教室)

○大会シンポジウム [13:05～16:45] (共通教育棟 2 号館 212 教室)

○総会 [17:00～18:00] (共通教育棟 2 号館 212 教室)

○懇親会 [18:00～20:00] (IKUS 高知大学生協)

【第 3 日】 10 月 29 日 (日) 特別セッション・個別報告

○特別セッション [9:30～12:00] (共通教育棟 3 号館 333 教室)

○個別報告② [9:00～13:00] (共通教育棟 3 号館)

※終了時刻は変更することがあります。

【その他】 10 月 27 日 (金)

編集委員会 [16:45～17:45] (総合研究棟第 1 会議室 1)

理事会 [18:00～20:00] (総合研究棟第 1 会議室 1)

10 月 28 日 (土)

個別報告優秀賞審査委員会 [12:00～12:50] (共通教育棟 3 号館 334 番教室)

同打ち合わせ会議 [8:45～9:15] (共通教育棟 3 号館 334 番教室)

シンポジウム打合せ [10:30～13:00] (共通教育棟 3 号館 333 教室)

(注)大会会場の地図・交通案内等は、本文 4-5 頁をご参照ください。

2-3. 参加費用等

- ・大会参加費：普通会員 3,000 円，非会員 4,000 円，学生会員・学生非会員 1,000 円
 - ・懇親会費：普通会員 5,000 円，学生会員 3,000 円
- 懇親会の参加申し込みについては，下記 7(3)をご参照ください。

3. 地域シンポジウム

「高知県における 6 次産業化に向けた人材育成の現状と未来」

10 月 27 日（金）[14:00～16:30]

農業者の高齢化や担い手不足の中で，担い手育成と同時に 6 次産業化が課題となっている。2008 年に始まった「土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業（土佐 FBC）」は，高知県の食料産業の中核を担う専門人材の育成を目的に，産官学が連携して食品製造・加工や品質管理技術等に関する講義や実習からなる教育プログラムを実施してきた。本シンポジウムでは，10 年間にわたる土佐 FBC の活動紹介と今後のビジョンを示すとともに，パネルディスカッションによって，産業化における人材育成や商品開発，地域産業振興と大学の貢献，さらには農業発展への可能性について議論する。

コーディネータ | 玉里恵美子（高知大学）

報告 1 | 「土佐 FBC の成果と新たな取り組み」（仮題）

受田浩之（高知大学地域連携推進センター長）

報告 2 | 「建設産業からの農業参入と加工事業の展開」（仮題）

高橋 誠（株式会社アグリネットワークれいほく）

報告 3 | 「食品加工メーカーから農業部門への展開」（仮題）

町田直明（株式会社 土佐龍馬の里）

コメンテーター | 河村能夫（京都府立農業大学校校長，龍谷大学名誉教授）

4. 大会シンポジウム

「実験・行動経済学による地域農林業研究の革新」

10 月 28 日（土）[13:05～16:45]

経済学をはじめとする人文社会科学では，自然科学のような実験が不可能であると言われてきた。しかし近年，現実経済を人工的に模した環境下における「ラボ実験」や，現実の生活の場で行う「フィールド実験」が盛んにおこなわれている。このように「実験」は，経済学において「理論」「計量」と並ぶ方法論的地位を確立しつつある。本シンポジウムでは，実験・行動経済学分野の第一人者である栗山浩一氏（京都大学）を座長に迎え，3 名の実験・行動経済学研究者に，それぞれの分野における研究の動向を紹介していただく。また，主としてフィールドワークを実施している 2 名のコメンテーター「実験・行動経済学に対するフィールドワーク研究者としての期待」に関するコメントをいただく。総合討論では，「実験・行動経済学をいかに地域農林研究に結びつけるか？」という視点から研究者間の議論を行う。

座長 | 栗山浩一（京都大学）

演題 1 | 「実験室実験: 経済理論の検証と政策への応用」

佐々木俊一郎（近畿大学）

演題 2 | 「環境経済学における実験研究の動向」

三谷羊平（京都大学）

演題 3 | 「途上国農村研究におけるフィールド実験の課題」

高篠仁奈（東北大学）

コメンテーター：中塚雅也（神戸大学）・駄田井久（岡山大学）

5.特別セッション

10月29日(日) [9:30~12:00]

地域農林経済学会では、会員の国際交流や英語による研究成果の公表を目的として、本年度から「国際化担当」を設置しました。

第67回地域農林経済学会高知大会の「特別セッション」では、若手研究者による研究報告を企画しています。これは数名の報告者を募り、そのプレゼンテーションに対し助言を行い、国際誌への投稿を促すことを目的としています。対象となる研究は農林経済学に関係する内容であれば、対象国・地域、分析手法等を問いません。募集要項は以下の通りです。

1. 応募者は地域農林経済学会の会員に限る。
2. 口頭報告は日本語でも可とするが、提出論文は英語に限る。
3. 報告希望者は8月19日までに英文原稿を学会事務局に提出する(締切り厳守)。提出の際は「特別セッション」の報告原稿である旨を明記する。
4. 引用文献を含む本文の単語数はおおむね7千を上限とする。
5. 公募数が多い場合は、提出された原稿の内容を精査して、報告者を3名程度に限定する。
6. 英文校閲料として1人5万円を学会が補助する。
7. 提出原稿は未投稿のものに限る。

6. 個別報告

10月28日(土) [9:00~12:00] (個別報告優秀賞対象報告を含みます。)

10月29日(日) [9:00~13:00] (終了時刻は変更することがあります。)

1. 個人・連名報告は1件につき、30分(報告20分、質疑応答10分)を予定しています。
2. 筆頭報告者には、会員の資格が必要です。非会員の方には、入会関係書類を送付しますので、至急、学会事務局までお申し出ください(学会HPからのダウンロードも可能です)。また、同一筆頭報告者による報告は一報告に限りますので、ご注意ください。
3. 個別報告の申込期限(8月17日(木))までに、入会金と年会費の納入が必要です。
4. 個別報告の申し込み方法、プレゼンテーション用ファイル(PDF)の送付、個別報告論文投稿等については、【別紙】の1・2を参照してください。
5. 個別報告優秀賞には、大会時点(2017年10月28日時点)で37歳未満の若手会員の方ならば、応募することが出来ます。若手会員の積極的な応募を期待します。なお、個別報告優秀賞応募の方法については、【別紙】の3を参照してください。また、表彰規程、審査手続きの詳細については、学会HPに掲載しておりますので、参照してください。
6. 今大会ではセッション募集は行いません。ただし、個別報告の時間帯で複数名がグループとして連続的に報告する形式を希望する場合には2~3時間程度の時間枠を提供しますので、企画担当理事(駄田井久: hisashi@okayama-u.ac.jp)に申し出てください。なお、報告数が多い場合など承れない可能性があることをご確認ください。また報告論文として投稿を希望する場合には、個別報告論文投稿規程にしたがってください。

7. その他連絡事項

(1) 宿泊について

事務局では斡旋いたしません。各自でご予約ください。

(2) 昼食について

開催期間中は、高知大学生協食堂が営業しております。ただし、10月29日(日)の営業時間は、11時30分~13時30分の間だけとなりますので、ご注意ください。

(3) 懇親会の申し込みについて

懇親会への参加を希望される方は、下記の要領で e-mail にて、懇親会担当(高知大学)までお申込みください。懇親会の準備の都合上、下記の要領にて事前に申し込みをして頂きま

すようにお願い申し上げます。会費は当日受付にてお支払いください。

宛先：E-mail：rcpt_uketsuke@yahoo.co.jp

メールの件名：懇親会申し込み

メールの本文：①氏名，②所属，③会員種別（普通，学生）

申し込み期限：10月17日（火）

その他：複数名分を，一括してお申込みいただいても結構です。その場合は，上記①～③を申込者分お書き下さい。

(4) 大会期間中の保育／託児室設置について

今大会では，お子様同伴で参加を予定される方のために，有償で利用可能な保育室の設置を予定しています。保育室の利用をご希望の方は，必ず9月20日（水）までに，下記の申し込み先へお子様の年齢・人数と利用日時をお知らせください。事前の申し込みがあった場合にのみ，保育室と保育係を準備いたします。なお，個人負担額は1日：5000円，半日 3000円です。

申し込み先：大会事務局 飯國芳明（E-mail: iiguni@kochi-u.ac.jp）

(5) 高知大学キャンパスへの交通手段について

会場までの交通機関の乗り換えに関して，詳細な情報をアップしました。

次のURLをご覧ください。乗り換え情報：<http://a-rafe.org/2/2/394>

●はりまや橋からは，

路面電車で約30分「朝倉（高知大学前）」下車すぐ

バスで約20分「朝倉高知大学前」下車

●JR 高知駅からは，

JR 土讃線下り15分「朝倉駅」下車徒歩3分

路面電車で約30分「朝倉（高知大学前）」下車すぐ

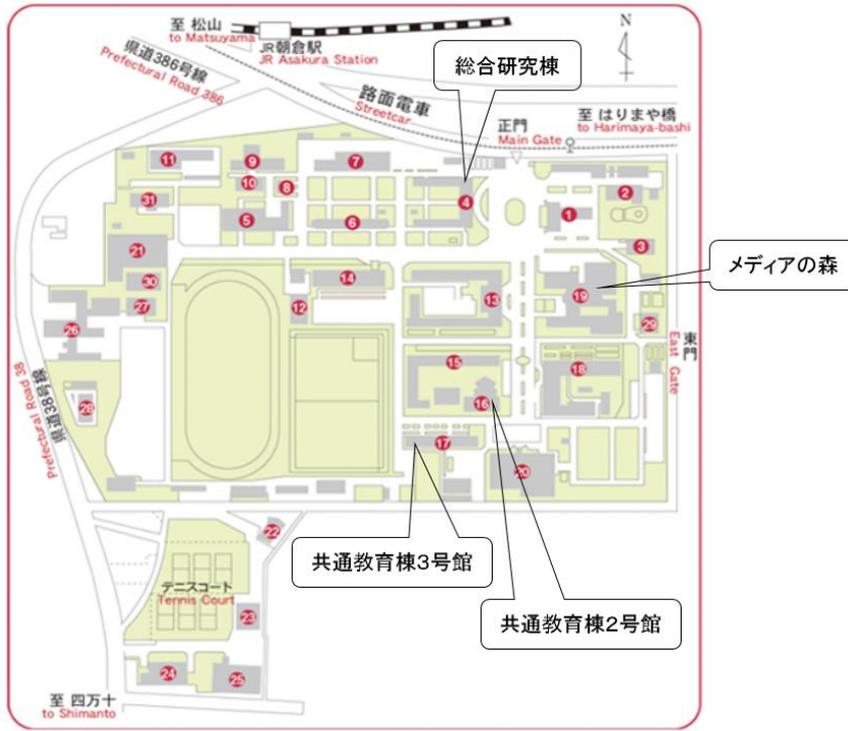
バスで約25分「朝倉高知大学前」下車

（詳しくは，<http://www.kochi-u.ac.jp/outline/access/asakura/> をご覧ください）

●大学正門にはゲートが設置されています。通常は，入構時にカードを取り，出構時に500円の課金がされます。地域シンポが開催される27日（金）に車で入構される方は，ゲートで受け取ったカードを会場までお持ちください。会場にて無料化の処理を致します。また，28日（土）と29日（日）はゲートが開放されていますので，入出構は無料です。



- メディアの森, 総合研究棟及び共通教育棟2号館, 3号館の位置



人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部 (朝倉キャンパス)

【別紙】

1. 個別報告の要旨原稿の様式・申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付等に関して

(1) 個別報告の要旨原稿の様式

1. 要旨原稿のフォーマットは、本学会HP (<http://a-rafe.org/>) の「学会誌」にある個別報告要旨様式（作成要領・見本）を参照して下さい。
2. 要旨原稿は、ワープロで作成したファイルを、必ずPDFファイルに変換して下さい（A4サイズ、1枚）。
ファイル名は、下記の事例を参照して下さい。
例（単独の場合） ○○大学・農経花子.pdf
例（複数の場合） ○○大学・農経花子他.pdf
また、所属機関の書き方は、下記の事例を参照して下さい。
例（社会人の場合） ○○大学、○○研究所
例（大学院生の場合） ○○大学大学院
例（学部学生の場合） ○○大学△△学部
例（日本学術振興会特別研究員の場合） 学振特別研究員・○○大学

個別報告要旨は、当日配付する資料等には収録していません。個別報告要旨は学会HPにアップし、大会期間中は受付場所で閲覧できるようにしておきます。

(2) 個別報告の申し込み方法

1. 申し込みおよび要旨原稿ファイル（PDFファイル）の提出は、webで行ってください。
当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/331d723232976>>です。
パスワードは、「20170817」と入力してください。
(当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。)
本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」にも上記アドレスをリンクしていますので、そちらを利用して頂くことも出来ます。
個別報告希望者は、**8月17日（木）23時まで**に、上記のURLアドレスを開いて、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」に必要事項を入力して下さい。
2. フォームの「IX個別報告要旨のファイル（PDF形式に限る）を添付してください。」の欄では、参照のボタンをマウスでクリックし、すでに作成された要旨原稿ファイル（PDFファイル）を選択して下さい。
3. 一連の操作が終わりましたら、確認画面へのボタンをクリックして下さい。入力された事項が、一覧になって現れますので、入力ミスがあれば、[戻る]のボタンをクリックすれば、何度でも修正することが出来ます。もし、ミスがなければ、[送信する]のボタンをクリックして下さい。
以上の結果、返信メールが、連絡先メールアドレスに送られる仕組みになっています。数時間たっても連絡先メールアドレスに、受付完了のメールが届かない場合には、再度申請をお願いいたします。また、時間の余裕をもって申請して下さい。
4. 「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」入力に関する質問は、電話では一切受け付けていません。また、入力ミスへの修正対応はできません。
5. 筆頭報告者は、本学会の会員に限られます。非会員の場合は、本学会HP<<http://a-rafe.org/>>の「会員・入会情報」から、**8月17日（木）17時（必着）まで**に、オンラインにて入会申請をしてください。もしくは、入会申込書（PDF形式）をダウンロードし、必要事項をご記入の上、学会事務局宛てに郵送ないしファックス送信してください。さらに、入会金1000円と学会費（年額）を、学会事務局の郵便貯金口座へ、**8月17日（木）17時まで**に、学会事務局で振り込みが確認出来るように、手続きを済ませておいてください。

(3) 個別報告で使用するプレゼンテーション用ファイル (PDF) の送付について

1. 個別報告でPDFファイルを使用する場合

- ① 個別報告会場に備え付けのプロジェクターとPC (OSは、Windows7, 8, 8.1, 10のいずれか) で報告していただきます。
- ② PDF用ソフトは、Adobe Reader 8 (Ver8.1.2), Adobe Reader XI (Ver11.0.11), Adobe Reader DC (Ver2015.016.20039)およびMicrosoft Edge (Windows 10のみ) のいずれかです。**(PowerPointファイルは使用できません)** 本学会HP上に掲載予定の個別報告一覧表において、各個別報告会場のPCのOSとPDF用ソフトを記載しますので、送付される前に、各会場で使用されるソフトで使用可能か、必ずご確認の上、お送り下さい。なお、PDFファイルを使用する場合であっても、紙媒体の配布資料も用意することが望ましいです。また、変換ミス等で使用できない等のトラブルによって、PCへの入力が必要な場合でも、事務局では、変換等のお手伝いはしません。その対策としても、紙媒体の配布資料の持参をお勧めします。
- ③ PDFファイルのプレゼンテーション用原稿は、当日の混乱を避けるため、10月20日(金) 23時までに、webで提出してください。(時間厳守：事務多用のため、締切り以降は受け付けません)。
- ④ 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/1d394ab732977>>です。パスワードを聞いてきますので、「20171020」と入力してください。
(当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意ください。)
なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。
- ⑤ 会場でのPC使用の便宜のため、PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。
例) 報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合
(単独の場合) 特0101・農経花子.pdf
(複数の場合) 特0101・農経花子他.pdf
報告者が、一般報告に応募で、第3会場の第6報告の場合
(単独の場合) 0306・農経花子.pdf
(複数の場合) 0306・農経花子他.pdf
- ⑥ ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をしてください。

2. 個別報告および大会セッションで紙媒体を用いる場合

従来通り、聴講者数分の部数を用意して、当日報告会場に持参してください(事務局では印刷の斡旋はしません)。

3. OHPは利用できません。

2. 個別報告論文としての投稿に関して

※個別報告論文の投稿方法が変更されています。主な変更点は、投稿プロセスの電子化、テンプレートファイル利用必須化の2点です。詳細な投稿方法や原稿作成要領等については、学会HPを随時参照してください。

1. 「地域農林経済学会大会個別報告論文投稿要領」(学会HPに掲載、以下、個別報告論文投稿要領と略す)の2にしたがって、「大会前提出原稿」を作成し、10月12日(木)23時まで(郵送の場合は消印有効)、個別報告座長宛てに1部送付(メールまたは郵送)して下さい。個別報告座長については、学会HPで確認してください(9月中頃掲載予定)。「大会前提出原稿」を作成する際には、学会HPに掲載されている「個別報告論文テンプレート」を用いる必要があります。
2. 併せて、「大会前提出原稿」は、10月12日(木)23時まで、インターネット経由で提出して

- ください (PDFファイルに変換のこと)。
3. 当該URLは、<<https://business.form-mailer.jp/fms/f8970eccc32990>>です。
パスワードを聞いてきますので、「20171012」と入力してください。
(当該パスワードは、極めて重要ですので、くれぐれも管理にご注意下さい。)
なお、本学会HPの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URL にリンク
していますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。
 4. PDFファイルには、下記のように名前を付けておいてください。
例) 報告者が、個別報告優秀賞に応募で、第1会場の第1報告の場合
(単独の場合) 特0101・農経花子.pdf
(複数の場合) 特0101・農経花子他.pdf
報告者が、一般報告で、第3会場の第6報告の場合
(単独の場合) 0306・農経花子.pdf
(複数の場合) 0306・農経花子他.pdf
 5. ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するような工夫をして下さい。
 6. 大会終了後に提出して頂くことになる個別報告論文の投稿方法・締め切り等については、大会前に常任編集委員会から投稿案内がメールにて送付される予定です(本学会HPでも告知します)。個別報告論文の書き方・提出方法等については、本学会HPに掲載される「個別報告論文テンプレートファイル」および「個別報告論文投稿要領」に従ってください。
 7. 連名報告での報告者の順位と、個別報告論文での執筆者の順位は、同じでなければなりませんので、ご注意ください。

3. 個別報告優秀賞の応募方法について

個別報告優秀賞は、個別報告の中から優秀な論文を選考するものですから、報告は通常の個別報告と同様、個別報告会場で行っていただきます。

個別報告優秀賞に応募される方は、まず、個別報告に申し込んでください。申し込み方法、プレゼンテーション用ファイルの送付方法、「大会前提出原稿」の送付方法等は、一般の個別報告に申し込まれる方と、同様です。

なお、「大会前提出原稿」の提出が必須です。「大会前提出原稿」の提出がない場合には、一般報告扱いになります。

個別報告を申し込まれる際に、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」の以下の3項目に必要事項を記入し送信してください。

- 【Ⅷ個別報告優秀賞への応募を希望しますか?】
- 【「はい」と希望した場合には、2017年10月28日時点での筆頭報告者の年齢を入力してください。】
- 【今回の応募は、研究論文等として投稿中の研究ではありませんね?】

なお、個別報告優秀賞への応募できるのは、2017年10月28日時点での筆頭報告者の年齢が37歳未満の場合です。また、すでに研究論文等として投稿中の研究は応募できません。ご注意ください。

4. 個別報告、個別報告優秀賞に関する問い合わせ先

(1) 個別報告「申し込み」、個別報告優秀賞審査対象論文「応募」に関する問い合わせ先

企画担当理事 (神戸大学・中塚雅也 : nakatsuka@port.kobe-u.ac.jp)

* 学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。

* 申請フォームの入力ミスへの修正対応はできません。

(2) 個別報告「大会前提出原稿」に関する問い合わせ先

常任編集委員会 (editors@a-rafe.org)

* 学会事務局では、問い合わせは受け付けておりません。

The 67th Annual Meeting of the Association of Regional Agriculture and Forestry Economics (ARFE)

June 30, 2017

The Association of Regional Agricultural and Forestry Economics (ARFE)

1. The Date and Venue:

October 27 – 29, 2017, Kouchi University (Asakura Campus)

2. The Schedule and Meeting Places:

[October 27, 2017]

The Special Symposium; at Integrated Information Center the 6th floor, 14:00-16:30

[October 28, 2017]

Individual Presentation (1); at Rooms in, Common Lecture Building 3rd, 9:00- 12:00

The Main Symposium; at Room 212 in, Common Lecture Building 2nd, 13:00-16:45

The General Meeting; at Room 212 in, Common Lecture Building 2nd, 17:00-18:00

Reception Party; at IKUS, 18:00-20:00

[October 29, 2017]

Special session: at Room 333 in, Common Lecture Building 3rd, 9:30-12:00

Individual Presentation (2); at Rooms in, Common Lecture Building 3rd, 9:00-13:00

- For Panel Discussion, Meeting Sessions & Individual Presentation;

3,000yen for regular members

4,000yen for non-members

1,000yen for student members and student non-members

- For Reception Party;

5,000yen for regular members or non-members

3,000yen for student members and student non-members

3. Individual Oral Presentation

[October 28, 9:00-12:00 / October 29, 9:00-13:00]

3-1 The time allocated for each presentation is 30 minutes (20 minutes for presentation and 10 minutes for discussion).

3-2 The lead presenter of the oral presentation must be a member of ARFE and pay the admission and membership fees before the deadline of application (Thursday, August 17, 2017). For non-members who wish to present their papers, please request the ARFE Secretariat to send the membership application forms as soon as possible (the application form can be downloaded from the ARFE Home Page). Each applicant has an eligibility to be the lead presenter of ONE oral presentation only.

3-3 For the instruction of applications, see Appendix 1. Please be careful about the submission and application methods.

3-4 From the 60th Annual Meeting of the ARFE, there is a competition for excellent oral presentation to promote the research activities of members who are still younger than 37 years old on October 27, 2017 (for the rules of commendation and the procedures for selection, see the ARFE Home Page). For the application, please see the instruction of application for the prize in Appendix 2.

4. The Other Information

4-1 Accommodation:

You are responsible for arranging your own accommodations.

4-2 Lunch:

The participants can eat lunch in Cooperative restaurant on October 28 ,29 .

On October 29 it will be opened 11:30~13:30.

4-3 Registration of Reception Party:

We recommend the members who plan to participate in the reception party to apply by email, using the following instructions by Tuesday, October 17, 2017.

E-mail address: rept_uketsuke@yahoo.co.jp

Subject of the email: Application for reception

Required information:

- 1) Name
- 2) Organization
- 3) Mailing address
- 4) Telephone number

[Appendix 1] Instruction for Presenters of Oral Presentations

1. Preparing the Abstract

1-1 Please see the sample of the format in the ARFE HP <<http://a-rafe.org/>>

1-2 The file of the abstract written with a word processor must be converted into PDF format (A4 size, one page).

1-2-1 The file name must be written as the following example formats:

Examples:

For single presenter, ○○University_Tokushima Hanako.pdf

For more than one presenter, ○○University_Tokushima Hanako others.pdf

1-2-2 The name of organization must be written as the following examples.

Examples;

For the member of society, ○○University, ○○ Research Institute

For the graduate student, Graduate School of ○○ University

For the undergraduate student, Faculty of △△, ○○ University

For the JSPS post-doctoral fellow, JSPS post-doctoral fellow of ○○ University

2. Applying for the oral presentation

2-1 The applications for oral presentations and submissions of abstracts must be sent via internet.

- Go to the web site <<https://business.form-mailer.jp/fms/331d723232976>>.
- Enter the password <20170817>.
- You will find the English description.
- You have to upload an abstract of your presentation at the end of this procedure.
- *Please see the sample of format in ARFE Home Page
- <http://a-rafe.org/uploads/file/file_20120709023309.pdf>.
- The file of abstract written by word processor must be converted into PDF file (A4 size, one page).
- You have to finish the procedure by 11pm on August 17, 2017.

2-2 If you are planning to submit the manuscript for Research Paper, you have to submit it by 11pm on October 12 2017.

- Go to the web site <<https://business.form-mailer.jp/fms/f8970ece32990>>.
- Enter the password <20171012> and click [sending].
- You will find the English description.

2-3 If you are planning to use a PDF at your presentation, you have to submit the file by 11pm on October 20, 2017. (Please note that PPT file cannot be used)

- Go to the web site <<https://business.form-mailer.jp/fms/1d394ab732977>>.
- Enter the password <20171020> and click [sending]
- You will find the English description.

*Files must be 3MB or smaller. Files greater than 3MB cannot be accepted.

[Appendix 2] Applying for the Excellent Presentation Prize

1. The presenters who apply for the prize must present their papers in the same rooms and in the same way as those who do not apply for the prize.

2. The applicants must write their answers to the question “VIII. Would you like to apply for the excellent presentation prize?”, “If yes, please input the age of the lead presenter on the date of October 28, 2017”, and “Is this application not the study that you are already contributing as theses?”, and send those answers at the time of application. The lead oral presenters, who can apply for the prize, must be younger than 37 years old on the date of October 28, 2017.

For further inquiries regarding oral presentation and the excellent presentation prize, please contact:

Hisashi DATAI (Okayama University)

E-mail: hisashi [at] okayama-u.ac.jp (*please change [at] to @)